



ながいもの安定多収には芽出しの湿度管理が大事！

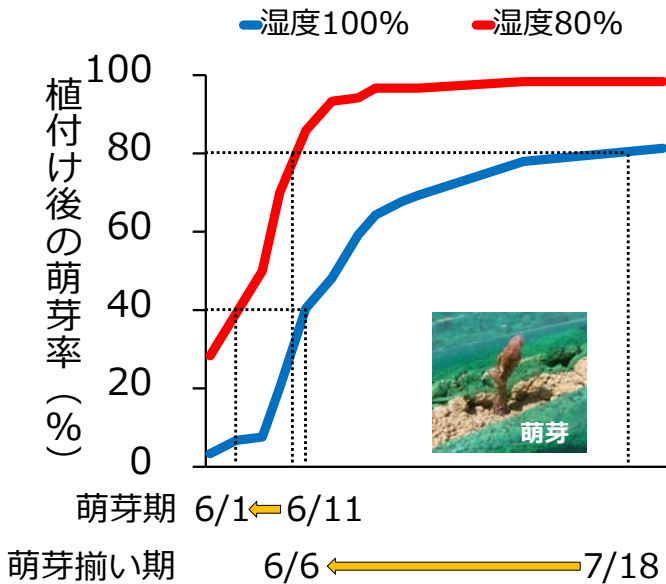
概要 Abstract

催芽（芽出し）の時の湿度を100%から80%に変えると、

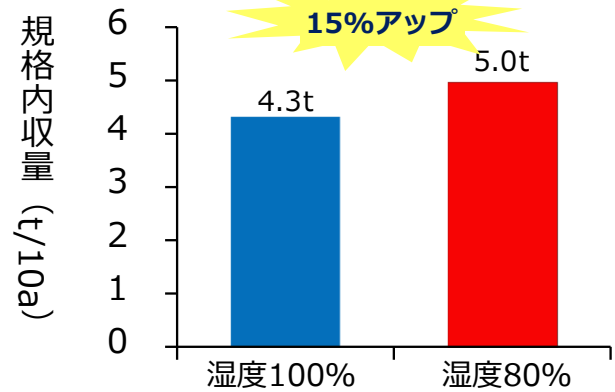
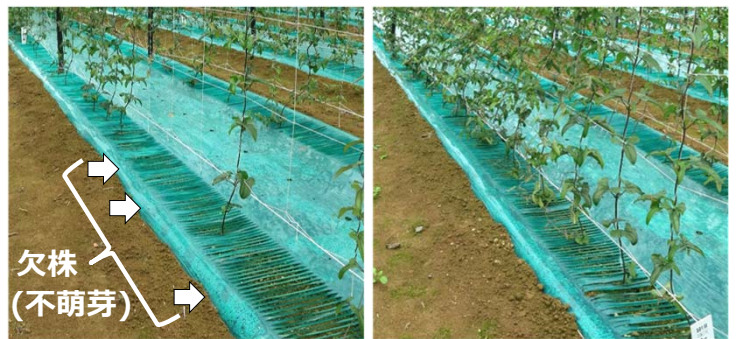
- ①植付け後の萌芽が早く、揃いも良くなります。
- ②大きな減収要因の一つである不萌芽がほぼ無くなり増収します。
- ③湿度80%は、催芽期間が長くなりますが、作業体系は大きく変わりません。

成果 Results

①萌芽性が格段に向上する



②欠株（不萌芽）が減り、収量が増える



③提案する催芽法と作業体系

催芽法	月	3月			4月			5月			6月		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
改善 (湿度80%催芽)		● 調製 1アリク			● 催芽			▲ 順化 植付			● 萌芽		
現行 (湿度85~99%催芽)	春掘あり	● 調製 1アリク			● 催芽			▲ 順化 植付			● 萌芽		
	春掘なし	● 調製 1アリク			● 催芽			▲ 順化 植付			● 萌芽		

普及 Dissemination

- 湿度の改善で10a当たり粗収益が約20万円アップします！
- 作業や費用はほぼ変わりません！

連絡先 Contact

十勝農業試験場
 研究部 地域技術グループ
 0155-62-2431
 tokachi-agri@hro.or.jp